

8月01日(日) 09:00~10:30 4チャンネル

POCWS-04(要旨) Residents-as-Teachersワークショップ(オンラインレクチャーのオンラインレクチャー)

司会：菊川 誠(九州大学)

2020年ほどディスプレイに向かって話した年はないのではないだろうか。コロナ禍で、ICTが我々の生活や仕事をなんとか支えてくれた。臨床教育でも、今まで対面で行っていたレクチャーやカンファレンスからICTを利用した形に変化した病院や指導医も多いと思う。ただ、この変化に慣れない参加者、そして指導医自身に戸惑いも多いのではないだろうか。我々は若手医師を対象にResidents as Teachersという概念のもと、若手指導医講習会を開いている。Residents as Teachersとは研修医も指導スキルが必要であるという考えで、欧米ではその考えをもとに、数十年前から研修医に対する指導スキルアップを目的とした講習会が多く行われている。医学教育学会でも以前に若手指導医のための指導スキルアップセミナーという若手向けの指導医講習会が開催されていた。我々も医学教育学会学術大会でも2018年の第50回大会でレクチャーのレクチャーという題でワークショップを開催した経験がある。今回はその発展版としてオンラインレクチャーのオンラインレクチャーという題で、オンラインレクチャーやカンファレンスの具体的な方法論やヒントについてワークショップ形式で共有したいと考えている。若い故にセティングなどを頼まれることが多いであろう若手医師に向けて、一歩先ゆくオンラインレクチャーやオンラインカンファレンスのコツについて説明したい。

ファシリテーター：橋本 忠幸(橋本市民病院)
Tadayuki Hashimoto (Hashimoto Municipal Hospital)

小杉 俊介(飯塚病院)
Shunsuke Kosugi (Iizuka Hospital)

金澤 剛志(健和会大手町病院)
Takeshi Kanazawa (Kenwakai Otemachi Hospital)